

平ボデー車安全ニュース

〈固縛装置メンテナンス編〉

固縛装置の定期点検していますか？

安全な運行を確保するために、積荷の固縛装置の点検は欠かせません。

大切な積荷を守り、事故を未然に防ぐために、

定期的な点検と適切な整備を行いましょう。

もし異常が見つかった場合は使用を中止し速やかに架装メーカー・指定する
修理工場にお問い合わせください。

1. 埋込丸環フックの点検項目

- ①取付ボルト/ナットの緩み、脱落
- ②フック部の変形、亀裂
- ③押え金具の変形、亀裂
- ④床枠ボルト/ナットの緩み、脱落
- ⑤横ネタの亀裂、変形、劣化
- ⑥皿部に溜まった泥やゴミ等（の清掃）



2. ロープフックの点検項目

- ①フック部の変形、亀裂
- ②床枠ボルト/ナットの緩み、脱落
- ③横ネタの亀裂、変形、劣化
- ④ロープ穴が有る場合は
 - ・ロープ穴取付ボルト/ナットの緩み、脱落
 - ・ロープが擦れる部位の錆や傷等



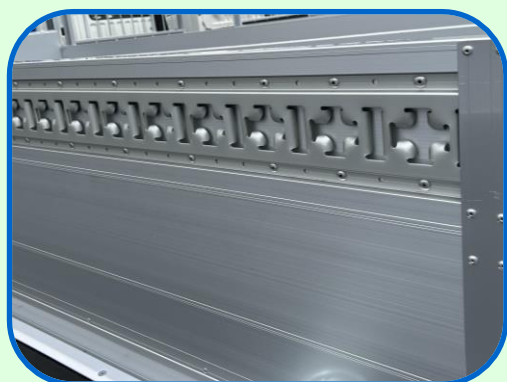
3. Uフックの点検項目

- ①取付ナットの緩み、脱落
- ②フック部の変形、亀裂
- ③床枠ボルト/ナットの緩み、脱落
- ④床枠のフック用穴部の変形、亀裂



4. ラッシングレールの点検項目

- ①取付ボルト、リベットの緩み、脱落
- ②スリット（鍵穴）部の変形、亀裂
- ③スリットや取付部の錆、腐食
- ④アオリ本体の変形、亀裂



5. フロアステッキの点検項目 (スタンション)

- ①フロアステッキ（棒）の変形、亀裂
- ②棒受の取付ボルト/ナットの緩み、脱落
- ③棒受の床枠等との接合部の亀裂、剥がれ



6. その他の点検項目

- ・ロープ、ワイヤー、ラッシングベルト等の傷やほつれ、劣化の状態やラチェットの作動も使用都度確認する様にしましょう。



荷台の定期点検を推奨しています

日本自動車車体工業会では、一年に一度の車両整備のプロによる荷台の定期点検を推奨しており、皆様が車両を長くお使い頂けるよう定期点検制度を設けております、車検では気付きづらい荷台の負荷がかかる場所をメインに点検を行うことでユーザーの皆様へ安全にご利用いただく為のお手伝いをしております。

